

市内高校生・事業者連携「経営課題支援策提案事業」 最終報告書

■内 容 尼崎市内に事業所を置く企業が高校生に対し、実際に抱える課題（新商品・サービス・製品開発並びにそのマーケティング、顧客開拓方法、プロモーション、採用戦略など）をご説明いただき、高校生が企業へ課題に対する実践できる検討策を各自・グループで自主的・協力的に考え、提案を行う。

■参加者 尼崎市立尼崎双星高校 商業科 3年生 14人

■協力企業

○賀名生漆工芸 代表 加藤 朋子 氏（漆卸売）

協力内容：下記をテーマに合計3回直接指導

9月 生徒へ企業概要・経営課題の提示
会社見学・実地指導

10月～11月 改善策の検討・評価



■開催期間

同校課外授業（課題研究）を活用して実施

※2学期 月曜日5限目、木曜日5.6限、11月29日(水)課題発表会

■実施結果

課題テーマ：漆を広く普及していく施策について多くの方に再認知してもらい、使ってもらうためにはどうするのか？

取組内容：

同社が取り扱う「漆」は主に漆器使われており、日本の伝統工芸であるが、プラスチック製品の台頭により、市場規模が年々下がっている。そんな中、改めて漆を広め、守っていくための施策として、近隣6幼稚園・保育園に漆塗箸を提供・使用してもらい、その文化や魅力を伝える紙芝居を実施することで、幼いころから漆に触れる機会を提供。幼児でも親しみやすいよう、箸の使い方（食育）と絡めることで、紙芝居を使い、分かり易く発信した。また、本事業の資金調達はクラウドファンディング(CAMPFIRE)を利用し、最終的に達成に至った。

以上